

第153号

昭和58年8月1日

広報

かでな

編集と発行

発行 嘉手納町役場

編集 企画課広報係

〒904-02

嘉手納町字嘉手納588番地

☎ 09895(6)-1111

印刷: ロータリー印刷

7月1日の人口

	東区	上区	中区	北区	南区	西区	南浜区	計
世帯数	681	437	401	541	594	568	537	3,759
男子	1,373	798	767	973	989	1,072	1,182	7,154
女子	1,318	839	770	998	1,040	1,095	1,090	7,150
計	2,691	1,637	1,537	1,971	2,029	2,167	2,272	14,304

上記には外人登録を含まず



夏本番

(七月十八日・屋良小学校)



行事日程

8月12日(金)			
分村35周年記念式典	午後 2:00～4:00	町民会館	
記念芸能大会	7:00～9:00	町民会館	
津瀬千代琉舞研究所			
宮城能菊琉舞研究所			
玉城節子琉球舞踊道場 嘉手納支部			
琉球民謡協会 嘉手納支部			
上地流空手道嘉手納修武館			
石川節子琉舞道場			
古謝弘子舞踊研究所			
8月13日(土)			
盆まつり民謡大行進 (RBC旧盆特番録画撮り)	午後 6:00～7:30	町民会館	
野国総管例祭(378周年)	5:00～5:30	総管宮	
盆栽展・植木市・農産品市・出店及び商工会謝恩市	1:00～10:00	小・中学校 グラウンド	
プラスバンド演奏	5:30～6:00	"	
子どものぞ自慢	6:00～7:00	"	
余興(各区老人クラブ)	7:00～8:00	"	
伝統芸能祭	8:00～8:30	"	
盆踊りの夕べ	8:30～9:30	"	
花火大会	9:30～10:00	"	
8月14日(日)			
郷土演劇大公演 (与座兄弟、大宜味小太郎外)	午後 2:00～4:00	町民会館	
盆栽展・植木市・農産品市・出店及び商工会謝恩市	1:00～10:00	小・中学校 グラウンド	
囲碁大会(一般)	1:00～	北区公民館	
将棋大会(小中学生)	1:00～	小校体育館	
チビッ子相撲大会(小学生)	5:30～6:00	小・中学校 グラウンド	
カラオケ大会	5:30～6:30	"	
エイサーまつり	6:30～8:00	"	
カチャーシー大会(飛び入り)	8:00～8:30	"	
盆踊りの夕べ	8:30～9:30	"	
花火大会	9:30～10:00	"	

分村35周年 庁舎・町民会館落成記念

♪♪♪♪♪ 多彩な催しがいっぱい ♪♪♪♪♪

豊かな人間性と文化を育てる
まち・活力ある豊かなまち→を
メインテーマに、昭和五十八年
度かでなまつりが八月十二日・
十三日・十四日の三日間、町民会
館と嘉手納小中学校グラウンド
を会場に開催されます。

今年のまつりは、分村三十五
周年記念、庁舎・町民会館落成
記念と、従来のまつりを総括し
たまつりで、十二日は、分村三
十五周年、庁舎・町民会館落成
式典と記念芸能大会を町民
会館で催し、十三・十四日の両
日が従来のまつりの催しと、町
民会館で十三日に盆まつり民謡
大行進(RBC TV録画)、十四日
に郷土演劇大公演(与座兄弟・

大宜味小太郎外)と多彩な催し
が準備されております。また、
八月十三日午後五時より、野国
総管例祭(三七八周年)を挙行
いたします。
なお、十二日午後二時から挙
行される町民会館での記念式典
に、多数の町民がご出席下さい
ますようお願いします。

その 13

嘉手納の歩み

「我が街かでな」写真展

まつり期間中⇒役場エントランスホール



▲ 大正の天川坂



▲ 戦前の比謝橋風景



▲ 分村15周年祝

(昭和38年)



▲ 新町通り

(昭和30年)



▲ B52飛来抗議村民総決起大会 (昭和44年11月)



▲ 屋良地域の井戸が基地内から油により汚染

(昭和42年5月)

62年沖縄国体開催内定

本町は成年女子ソフト競技会場
宿泊施設が大きな課題



▲福永日体協副会長より沖縄国体の内定通知を受ける大里県大協会会長

日本体育協会は七月六日の理事会で、昭和六十二年に行われる第四十二回国民体育大会は沖縄県で開催することを全会一致で承認しました。これは去る六月一日、沖縄県から提出された開催の申請を受けて内定されたものです。これにより、来年五月に予定されている日体協と文部省が各競技施設と会場地市町村の準備状況等の総合視察を行い、来年七月ごろ開催決定が行わることになっています。

沖縄国体では夏季大会と秋季大会が開かれます。実施競技は適当な山がないことから山岳競技を除き、夏季大会が四、秋季大会が三十二(うち公開競技二)の計三十六競技が行われます。

夏季大会は五市町村五競技会場、秋季大会は三十三市町村七十七競技会場で開かれ、夏季・秋季あわせて十一市九町十一村で開かれることになっています。

本町は成年女子ソフトボール競技大会場にあたり、去る二月二十五・二十六日の両日、日本体育協会国体競技運営委員により、本会場及び練習会場の正規視察を終え高評をうけております。

しかしその反面、宿泊施設が大きな課題であります。本町においては十六チーム(一チーム約十六人)の選手団及び大会役員を宿泊させる施設は皆無であります。そのため、宿泊施設として公共施設や民宿(一般家庭において選手を分散し宿泊)で確保する以外、その対応策が考



やさしい、水、好き。



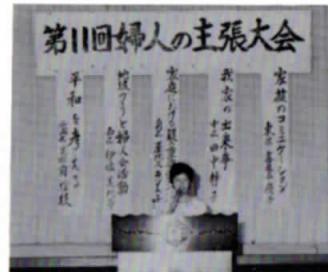
8月1日は「水の日」
8月1日~7日は
「水の週間」

えられませんので、町民皆様の積極的な協力をお願いいたします。
又、本年度において各種団体及び各種機関等を網羅した、国体準備委員会を設立し、町民への意識の高揚等を図りながら、四年後に開催される第四十二回国民体育大会に向けて本格的な準備に取り組む事にしております。沖縄国体さらには成年女子ソフトボール競技を町民総参加の意図で成功させようではあります。

婦人の主張大会

五名の婦人が体験発表

町代表に東区の喜友名さん



▲町代表に選ばれた喜友名さんの主張

町婦人会（喜納千代会長）の
第十一回婦人の主張大会が、七

月三日午後二時より、町中央公

民館大ホールで催され、「家族

コミュニケーション」「我家の

出来事」「家庭におけるしつけ

の重要性について」「地域づく

りと婦人会活動」「平和を考え

る」と題し、五名の方々による

体験発表が行われ、「家族コミ

ニケーション」と題し体験発

表を行った東区の喜友名慶子さ

んが、中部地区婦人主張大会の

町代表として選ばれ、去る七月

十八日に催された大会に参加し

ました。

て絶好のコミュニケーションの場でした。遊びの中で子供達はやつていい事と、やつていけない事の物の分別を学んでいたようになります。親は危険な遊びをさせなければあまり干渉せず、自由にさせてくれました。

あの頃と今は環境も変り、子供達の遊びも変化してきました。夕方の木陰には子供達はおらず静まりかえり、子供達の目はテレビに釘づけになり、同時に機械相手の一人遊びがふえました。

たしかに機械は私達にあらゆる知識を豊富に与えてはくれましたが、それ以上に、私達からも子供も手持無沙汰でイライラする事、長女は大好きなテレビを取りあげられ、ついに欲求がないでしようか。

もっとも、テレビ自体は何の罪もないのですが、ついにもう

私もまた、訪問者からのオカシに皆して喚声をあげたものでした。

私が幼いころの嘉納は、まだ米兵がさかんに大通りを歩き、活をしている家庭もあれば毎日子供ながらに英単語の一つや二つ自然に覚えたものでした。才氣の少なかった時代だから、友達から分けてもらった米軍用のココアのビスケットを喜んで食べていたのを覚えています。

時おり軍からながれてくる食

料で、肉やハム等の豪華な食生

んが、中部地区婦人主張大会の町代表として選ばれ、去る七月十八日に催された大会に参加しました。

何度も隠したのですが、私の気持を知らずしてか、大人達はやれ野球だのやれボクシングだの決心は固く、だれにも知られないようにテレビを隠してしまいました。

それからは毎日見ているもの

が急に消えたのですから、大人

も子供も手持無沙汰でイライラ

する事、長女は大好きなテレビ

を取りあげられ、ついに欲求不満に落ち入り妹にちよっかいを

あげてオヤツの要求をする事もなく、訪問者からのオカシに皆して喚声をあげたものでした。

あれから半年、子供達はやつ

りしろい事、親子四人テレビにしつかりしがみついて真剣そのものでした。実家の親達は、その様子を見て「テレビ、ウガリシミティヤー」と同情の言葉をむ

私は小学校へ上がる時は、まだテレビが普及してなかつた時

なので、子供達の遊びといえ

「ママゴト」「石ケリ」「木の実さがし」等どれもお金のかか

らない独創性のある遊びばかりでした。子供同志取つ組み合いのケンカもすれば、それを両成敗してくれる先輩達もいました。

又、夕方の木陰は私達にとつて絶好のコミュニケーションの場でした。遊びの中で子供達はやつていい事と、やつていけない事の物の分別を学んでいたようになります。親は危険な遊びをさせなければあまり干渉せず、自由にさせてくれました。

これは何とかしなくてはと考えた末、一番身近かなテレビを隠してしまった。押入の奥深く、タンスの上にと子供の力で持ち運べないようにと、

本を読む機会がふえ、そしてあ

る時は皆して音楽会、ほんとに楽しいものです。母の幸せを感じました。

お絵書きに無中になり、主人も手元でした。

それでも家でワーキングがれ

るよりはと、家族全員毎日のよ

うに外出しました。

それも飽きてくると子供達は

お絵書きに無中になり、主人も

手元でした。

それでも家でワーキングがれ

るよりはと、家族全員毎日のよ

うに外出しました。

それも飽きてくると子供達は

お絵書きに無中になり、主人も

手伝いをしたり、父さんの仕事のブタのエサくれも好んでやるようになりました。

何よりも変ったのは、父親とのコミュニケーションがふえた事でした。時として、テレビの前で一言の会話もないほど味けない食事時間だったのに比べ、自然と一日の出来事等、話し出すのを見て私は満足でした。

私達親子が一日の内でゆっくり話をする時間といえば、あの夕食タイムだけで、それも集会やら行事やらで思うように時間が取れず、子供達と接する時間もごくわずかでした。

そんな私にある保母が「どれぐらい育児に時間をかけたかではなく、どれぐらい子供の事を解ってあげているか」がたいせつな事よ」と教えてくれました。私は私に与えられたこの短い時間を有効に使う事を考え、主人も又、急がしい仕事の中、で生きるだけ子供達に接する事に協力してくれました。

子供を知る、とても簡単なようでもなかなか難しいものだと思います。それでも、話し合いをします。それでも、話し合いを何度も繰り返す事で私達はお互

いを知るのと同じで、子供達も

親をより以上に理解してくれるのではないか。

あってこそ、人間性豊かな家族となりうるのです。私はそれぞ

に、言葉で「話シムヌ語イ」をしてくれたものです。今度は私達が子供に、そして年とった親達の話し相手になつてあげる時

なのです。コミュニケーション、それは家族の一人を欠けては望

めないので。家族の和の力があつてこそ、人間性豊かな家族となるのです。私はそれぞ

に、言葉で「話シムヌ語イ」をしてくれたものです。今度は私

達の場を求める努力をする

事をのぞみます。

子供達以上に年とった親達も、ほんとうはそれを望んでいるの

ではないでしょうか。

屋良団地で消火訓練

— 火事は10秒で防げる —
町消防本部



▲ 子供達が見守る中での消火訓練
(7月23日・屋良団地)

第三回全日本学童軟式野球九州大会が、七月二十二・二十三日の両日、大分県別府市の実相寺球場で開かれ、沖縄県代表で出場した北区ライオンズが決勝まで進出し、地元代表の亀川ス

ポーツ少年団に三対一と押さえられ、惜しくも優勝を逃しました。

決勝戦は、一対一の同点の後、点を加え三対一と抑えられ、健闘およばず準優勝となりました。

この消火訓練は、屋良団地に設置されている消火器の薬品有

効期限切れによる、薬品の入れ替え時を利用して行つたもので、訓練にはお母さん方や子供達の

龟川が五回に三本の長短打で二回戦で対戦し、九州大会の雪辱

を果たしたい」と熱っぽく語つ

ててくれました。

また、九州大会出場に際し、町内各種団体、職場や個人の方

防本部職員の指導の下に、次々に消火器を手に消火訓練を実施

いました。

龟川が五回に三本の長短打で二回戦で対戦し、九州大会の雪辱

を果たしたい」と熱っぽく語つ

ててくれました。

